

「やりなおしたい」^{ひと}人と、それを^{おうえん}応援する^{きぎょう}企業の^{じょうほうし}情報誌

さしいれ



Vol.3

だいさんごう
第3号

April 2023



しよくしん
職親プロジェクト

かんさいきょうせい てんかいさい
関西矯正展開催レポート

しよくぎょうたいけん ないよう かんそう
職業体験の内容と感想

未来を変えるあなた



さしいれ

受刑者の皆さんに少しでも役に立てるような
情報誌、それが職親プロジェクト関西の季刊誌
「さしいれ」です。

今回の「さしいれ」は、2022年10月に行わ
れました「関西矯正展」の様子をメインにお届け
いたします！

さらにコロナ禍で抑制されておりました「仕事
フォーラム」や「職業体験」など各矯正施設での
開催も活発になってきていますので、今号では
その辺りも詳しくお伝えいたします。

第3号の「さしいれ」をどうぞお楽しみくだ
さい！

CONTENTS

関西矯正展 開催レポート	3
仕事フォーラム	8
職業体験取材	10
テレビ大阪ドキュメンタリー映画	15
加古川学園プロジェクト	16
入会説明会	18
企業研修会 実施報告	19
全国に支部や拠点づくり	20
私が面接を担当します	21
株式会社一門会 上山会長応援メッセージ	22
推薦図書紹介	23



かんさいきょうせい てん 関西矯正展 かいさい 開催レポート



テーマ

しゃかい ささき こうけん きょうせい
社会に支えられ貢献する矯正
ひら きょうせい さいしゅつぱつ
開かれた矯正 ~再出発のきっかけ~

2022年10月8日(土)、10月9日(日)の2日間にかけて開催した関西矯正展は、“社会を明るくする運動”の行事の一環として、矯正行政の現状について広く知っていただく目的で実施しました。第33回の今回は、職親プロジェクトも協力し開催するはこびとなりました。

展示会場では、再犯防止に向けた矯正施設(刑務所、拘留所、少年院、少年鑑別所)の取り組みについて、わかりやすく説明したパネルの展示や、受刑者が改善更生や社会復帰をめざして製作した刑務所作業製品の展示販売を行いました。

とうじつ 当日のプログラム

10/8 土

10:00 オープニングセレモニー

10:15 ゲストトーク

俳優 松尾 諭さんを1日大阪刑務所長としてお招きし、オープニングセレモニーとゲストトークを実施いただきました。

11:00 紙芝居/桃まる

11:30 チャリティーネイルアート/
おおさかびようせんもんがっこう
大阪美容専門学校

13:00 ビンゴゲーム/ JR 堺市駅

13:30 チャリティーネイルアート/
おおさかびようせんもんがっこう
大阪美容専門学校

14:30 職親プロジェクトシンポジウム

西川 きよしさんやハイヒール・モココさんなど豪華な参加者をお招きしました! ▶詳しくは P4-5 へ



まつお 諭さん



にしかわ きよしさん



ハイヒール・モココさん

10/9 日

9:30 会場

10:00 職親プロジェクトシンポジウム

赤井 英和さん、矯正支援官・Paix2 (ペペ)のおふたり(8日にも参加)など豪華な参加者をお招きしました! ▶詳しくは P6-7 へ



きょうせい し えんかん
矯正支援官・Paix2



あかい ひでかず
赤井 英和さん

11:30 紙芝居/桃まる

13:00 フラダンス/ヘマ・モアナ

13:30 紙芝居/桃まる

14:00 ビンゴゲーム/ JR 堺市駅



さしいれ第3号では、「関西矯正展」において開催された「シンポジウム」をメインに報告します。シンポジウム前半では、現在は更生し、職親プロジェクト登録企業の職場で活躍する元受刑者にそれぞれの体験や思いを話していただきました。

職親プロジェクトは、元受刑者の就労支援の取り組みをすべてオープンにしています。受刑者の受け皿である社会に、受刑者や元受刑者に対する思いこみや偏見を少しでも緩和してほしいという願いがあるからです。受刑者らの刑務所作業製品や、元受刑者らによる体験報告を通し、「開かれた矯正」を今後もめざします。





前半 体験発表

第1日目の前半では、現在は更生し、それぞれ職場で活躍している元受刑者4名に、それぞれの体験や思いを発表していただきました。

更生は一人ではできない
出所後に誰と出会うかが大事

株式会社ドリームジャパン
吉本 晃之



僕は20代の頃ギャンブルと借金を繰り返し、拳銃の果てに強盗を計画し逮捕されました。出所する際、以前からお世話になっていた長原さんに「更生したい意欲があるなら北海道においで」と声をかけていただき、二つ返事で北海道に向かったものの、また同じことを繰り返し長原さんに迷惑をかけてしまいました。ですが、そのたびに愛情を込めて叱ってくれ、「俺がいるから晃之は大丈夫。必ず更生させる」と言ってくれました。また、親父もずっと僕を見放さずにいてくれ、逮捕後は「頑張ってこい」と北海道に送り出してくれました。

出所してから誰と出会うのが重要だと思います。反省は一人でも、更生は一人ではできない。長原さんにも親父にも恩返しをするため、感謝の気持ち、謙虚さを忘れずに今後も更生の道を歩んでいきたいと思っています。

更生への歩みを導いてくれる職親プロジェクトで
再スタートできたことを知ってもらいたい

株式会社大忠
金澤 竜二



僕は16歳の時に薬物違反で少年鑑別所へ、その後も犯罪を繰り返してしまい20年ほど受刑生活をしてきました。ですが、2023年の3月でシャバでの生活が丸3年を迎えます。これは本当に職親プロジェクトのおかげです。僕のような人間が言えることはありませんが、出所した人間が、その罪をしっかりと背負いながらも生きなおせる世の中であってくれたら、さらに罪が増えることはないと思います。関西矯正展を通して、受刑者が更生に向けて必死で歩んでいること、職親プロジェクトがその歩みを導いてくれることは最強のコラボだと思います。本当はこういった場に出ることは抵抗があったのですが、関西矯正展や職親プロジェクトがあるおかげで僕のような人間が更生に向けて再スタートできることを知ってもらいたいと思い、この場に立たせていただきました。

刑務所の中で初めて自分と向き合い
罪の重さに気がついた

株式会社1010
北角 優芽



僕は非行や犯罪を繰り返し、15歳で少年院に入りました。当時の僕は、自分の思い通りに行かなかったら人を脅したり手を出したり、自己中心的な考えで動いていました。それは少年院に入っても続き、現実を受け入れられずに暴れまわってばかりいました。

ですが、しばらく何も無い白い部屋で過ごすうち、いままでも嫌で目を背けてきた、「自分」と向き合うようになりました。また交際相手からももらった手紙を読んでいるうちに、ようやく、自分が人様にしてきたことの重みに気がつきました。また、こんな自分のことを真剣に考えてくれる存在がいることが、とてもありがたく思いました。

少年院に入ったことは結果的に良かったと思っています。ただ僕はまだ罪を犯して生きていきたいありません。これからも真つ当な生き方を株式会社1010で学んでいきたいと思っています。

自分を信じてくれる上司のためにも
裏切らずにまっすぐ生きていきたいと思えた

千房株式会社
I



刑務所の中では職親プロジェクトや協力雇用主の資料を見ることがので、そこで千房を見つけました。有名で大きな会社であったこと、「自分と未来は変えられる」という中井会長の言葉に救われ応募し、出所の半年前に採用通知をいただきました。

今働いている虎ノ門店へ配属が決まった時は、東京は事件と関係のあった土地だし誘惑も多いので不安になりました。ですが、それでも私を東京配属にしたのは、上司が私を信じてくれたからだとも思いました。これまで両親にも警察にも、いつも疑われていましたが、こんな私を信じてくれる人がいることはとてもありがたいことです。絶対裏切ることではできないと思えました。私を支えてくださる人のためにも、被害者の方へ誠意を示していくためにも、そして自分自身のためにもまっすぐ生きていきたいと思っています。

後半 トークセッション

第1日目の後半では、前半の4人の話を踏まえて、中井代表、西川きよし氏、ハイヒール・モモコ氏、ペペのお二人を交えてトークセッションを行いました。

トークセッション参加者

- 西川 きよし氏
- ハイヒール・モモコ氏
- 中井 政嗣氏 (日本財団職親プロジェクト代表)
- 矯正支援官・Paix2 (ペペ) のおふたり
- 大阪矯正管区成人矯正第二課 松本 大輔氏、木本 亮氏



中井：職親プロジェクトがスタートしてからこれまで、この取り組みをオープンにすることを心がけてきました。おかげ様で千房という名前は大阪ではそれなりに知っていただいています。その千房が、受刑者の就労支援をしていることを世に知らしめることで、受刑者の雇用をすることへの不安感を取り除きたいという思いがあります。

職親プロジェクトの仲間の企業とお互いに励まし合いながら取り組んでいくうちに、元受刑者の従業員の定着率も上がりました。弊社では現在2名の店舗責任者が誕生しています。彼らが、昔お世話になった刑務所や少年院に行って面接をして、雇用する。新たな被害を生まないために、そういったサイクルをつくっていきたくと考えています。

西川：僕は慰問という形で、全国の特別養護老人ホームや少年院、刑務所などをまわっていました。そこで受刑者の方々からいろんな話を聞いて、家庭環境ひとつとってもいろんな人がいるのだと知りました。

うちは5人兄弟で大変貧しい家庭環境でしたから、僕は高校にも行けずに働いていました。働いていた工場で一緒だった人らも、たしかにみんな家庭環境に恵まれない人ばかりでした。

だからこそ、いかに出会う人、縁をいただく人が大切だということです。その縁を見分ける術もまた大切ですね。

ハイヒール・モモコ：私も今日4人の話を聞いて、誰に出会うか、そして守りたい存在があるかが大事だと思いました。私は結婚して子どもができて、子どもという守るべき存在ができました。あとは結婚するとき、きよし師匠と島田紳助さんに結婚の保証人になってもらったんです。これが良かったです。もし離婚したら迷惑かかるしものすごく説教されると思ったので。「この人に迷惑かけたらあかん」という人に出会う、そして、この人に喜んでもらいたいという人に出会うことが人生で大事だと思えますね。

ペペ：ペペは歌手として活動しながら、保護司も拝命しています。よく保護司の勉強会の際、「対象者の人と向き合うときは、正しいことを伝えるのではなくその人自身を知るようにしてください」と先生から伝えられます。今回の皆さんのお話を通して、誰かと向き合うときは、自分が伝えたいことを一方的に話すのではなく、相手のことを知ることが第一歩だと学ばせていただきました。

西川：私は長いこと慰問に行かせていただいていたのですが、この間タクシーに乗ったら、運転手さんが「実は京都の刑務所にいまして、きよし師匠に漫才してもらって、僕もみんなも大喜びしていました」と御礼を言ってもらえて、本当に嬉しかったです。中井代表に頑張ってもらっていて、こうしてイベントで我々もご縁をいただけて感謝しています。



前半 体験発表

第2日目の前半では、現在は更生し、それぞれ職場で活躍している元受刑者5名に、それぞれの体験や思いを発表していただきました。

草刈社長との出会いで
自分が「依存症」だと気づけた

白之出塗装工業株式会社
飯尾 康章



私は20歳の頃から約6年間、朝10時から夜10時までパチンコ漬けの日々でした。そのためお金がなくなり、数十回窃盗を繰り返し刑務所に入所しました。出所した後、草刈社長から「ギャンブル依存症問題を考える会」の田中さんとのご縁をいただきましたが、これが本当に良かったです。自分がギャンブル依存症だと認識できました。草刈社長にも、入社してから手取り足取り教えてくれた会社の人たちにも感謝しています。これからは職親プロジェクトに入ってきた人々たちにお返しできるよう頑張っていきたいです。

今では教える立場に
みんなでもとに更生をめざす

有限会社山下組

H



職親プロジェクトのおかげで更生することができた僕は、今では自分の仕事である足場の技術を教える刑務所や少年院を回っています。僕はその際、受刑者たちに「現実から絶対に逃げるな。今耐えられなかったらもつと厳しいぞ」と伝えていきます。つい先日、僕の言葉を聞いて頑張ってくれていた子がうちの会社に入社して、僕の下で真面目に頑張ってくれています。これからも、各少年院や刑務所にいる受刑者たちと、僕と一緒にみんなで更生できるように、活動に取り組んでいきたいと思っています。

自分の「頑張り」を見てもらい
受刑者たちのチャンスを増やしたい

株式会社大剛
玉田 恭平



僕は一度の少年院生活と二度の刑務所生活を経験しました。僕はたまたま職親プロジェクトと出会ったことで、今はこうしてご飯の心配もなく働けていますが、刑務所の中には、待ち望んでもチャンスすらもらえず、疲れていく人間がたくさんいました。だから僕は、「受刑者もチャンスをいただければ一生懸命働ける」と信じてもらえるように、頑張っていきたいと思っています。大剛や最初のきっかけをいただいた中井代表に感謝しながら、今の当たり前の日常を大切に、明日も1日頑張ろうと、日々過ごしています。

受け入れてくれる
人と場所があることに感謝

千房株式会社
月山 祐輝



8年前、窃盗の罪で刑務所にいた私を、中井会長に「今日からお前は私の息子だ」と拾ってもらいました。これからはまっとうに生きようと思い、必死に仕事に励んできましたが、1年前、私は少しの挫折と誘惑にかられ、再び同じ過ちを繰り返して、会長を裏切ってしまいました。ですが、会長は再び私を拾ってくれました。私は幸いにもとても人に恵まれており、居場所があります。これから更生をめざす人間にも、まっとうにいざられる場所や環境が増えていって嬉しく思います。

職親プロジェクトのおかげで
「よい大人」たちと出会えた

株式会社良心塾
黒川 紗妃



私の幼少期は母親に振り回される日々で、義理の父親に虐待もされました。家にも学校にも居場所がない私は12歳

で家出し、夜の街に行くようになりました。そこから抜け出せず15歳で入所した少年院で、良心塾の黒川塾長に出会いました。良心塾に入ってから黒川塾長はじめたくさんの人を傷つけてしまいましたが、生まれて初めて「見返りを求めない大人」たちに出会って、少しずつ私は変わっていくことができました。職親プロジェクトがあったおかげで、今では自分よりも大事なと思える子ども2人にも恵まれ、感謝しています。

第2日目の後半では、草刈副代表や大阪矯正管区成人矯正第二課長の松本さんらを迎え、再犯防止に対する取り組みや刑務所出所者を雇用する実状をテーマにトークセッションを行いました。

トークセッション参加者

- 赤井 英和氏
- 矯正支援官・Paix2（ペペ）のおふたり
- 上山 勝也氏（株式会社一門会会長兼社長）
- 草刈 健太郎氏（職親プロジェクト関西副代表）
- 大阪矯正管区成人矯正第二課 松本 大輔氏、木本 亮氏

上山：私はこれまで元受刑者を十数名雇用しています。大切なのは、他の社員が彼らをどう受け入れるかだと考え、私は会社のトップとして方針を決めました。ですが、やはり従業員たちは元受刑者に対してどう思うか不安でした。また、雇用した人の中には、ルールを守らない人やお金トラブルを起こす人などもおり、常に現場で注意気を張りながら仕事をしていました。負担は大きいですが、頑張っている彼らを見て「彼らにもチャンスあげなあかん」という思いで指導してきたのは私にとっても良い経験だったと思います。

ペペ：初めて刑務所でコンサートをしたときは、「しゃべってはいけない、足を組んではいけない」といった刑務所内のルールを知らなかったのので、いくら歌おうが話そうがしんと静まり返っていて、「受刑者の人たちはまったく人種が違うんだ」と思っていました。ですが、時間をかけて交流を続けていったら、歌を聞いて涙を流してくれる人もいれば、談笑してくれる人もいて、全然私たちと変わらないなと思うようになりました。今日発表してくれた5人は、人前で自分をさらけ



出すことになるので、すごく勇気が必要だったと思います。ですが、こうして話す

ことで、「頑張っている人」を知る人が増えるのが重要だと思います。発表を聞きながら自分自身も励まされている気持ちになりました。

草刈：さっき発表してくれた飯尾君をはじめ、ジャンル依存症の人や薬物依存症の人など、いろいろな人と仕事を通して交流してきました。昨日も、以前仕事で一緒だった人が結婚の報告に来るなど嬉しいことがたくさんあります。しかし一方で、何度も何度も裏切られています。最近分かったことは、「いくら裏切られても放さなかったらいつか戻ってくるんやな。今まで彼らには守ってくれ存在がいなかったんや」ということです。だから、「守りたい存在」をつくってあげることが一番の更生の近道だと思いますね。

松本：職親プロジェクトのみなさんは、「再犯をなくすには、居場所（住まい）と出番（仕事）が必要だ」と言われます。しかし、刑務所に勤務している私としては、言うのは簡単でも受刑者らにどれだけ響くのかは懐疑的でした。ですがあるとき、中井代表が出所する受刑者らから受け取った手紙を読んで、一人ひとり手書きで返事を書いているのを見たんです。「やる気があるんだったら来い」と。その光景を見たとき「中井代表は出所する人間を本気で受け入れようとしているのだ」とわかりました。だから今は、職親プロジェクトのみなさんの取り組みを真摯に受け止めて、前進させていくことが僕たちの役割のひとつだと思っています。官公庁主催でこのような矯正展を開催するのは異例ですが、中井代表や草刈副代表の取り組みを知ってもらいたいという一心で企画させていただきました。本日皆さんに、再犯防止に取り組む我々の活動に理解いただければ、今日のイベントはとても意義のあるものになると思います。



仕事フォーラム

もっと雇用し社会復帰をさせたい

仕事フォーラムの良さは、実際に矯正施設に職親企業が出向き、入院・入所者に社会復帰が出来る道筋をつけられることです。また、出院・出所後に働くところがあり、住むところもあるという社会復帰への希望を持たせることができることを喜びとしています。仕事フォーラムを通じて一人でも多くの者が企業とつながり社会復帰をしてもらいたいと考えています。

OMOIYARI プロジェクト 藤野 敏弘

実施(予定)日	施設名	参加企業
2022/1/12	茨城農芸学院	(株) Saaave ・ (株) 栄進
2022/6/24	加古川学園	千房(株)・カンサイ建装工業(株)・観鹿荘・(株) Fujiyama・(株) 松本商会・(株) らくじ会・(株) フォレストホーム・近畿環境保全(株)
2022/7/28	喜連川少年院	(株) SHIRO コーポレーション東京支社・(一社) ヒューマンハーバーそんとく塾・(株) ナチュラルスタンス
2022/7/29	交野女子学院	(株) プロGRESSIB・(株) 良心塾・(株) 日本介護医療センター・(株) 寿寿・(株) 信濃路
2022/8/3	佐世保学園	(一社) ヒューマンハーバーそんとく塾
2022/9/14	榛名女子学園	(株) 日本介護医療センター・千房(株)・(株) 栄進
2022/9/16	長崎刑務所	(株) 西日本光創・(有) 安藤建設・(株) T・P・T・(株) エフジー・(一社) ヒューマンハーバーそんとく塾
2022/9/28	松山刑務所	(株) ワークスタッフ
2022/9/28	三重刑務所	(株) 善機工・(株) 藤巻製作所・日之出塗装工業(株)
2022/9/28	松山刑務所	(株) ワークスタッフ
2022/9/30	札幌刑務所	(株) ドリームジャパン・(株) 高磯建設・北洋建設(株)・(株) 創ファニチャー・瀧建設興業(株)・(株) AK TEC
2022/10/21	喜連川社会復帰促進センター	(株) 寿寿・(有) アップ・U 彦根・降旗興業(株)
2022/10/27	月形刑務所	(株) ドリームジャパン・(株) 高磯建設・北洋建設(株)・(株) 創ファニチャー
2022/10/28	市原刑務所	ヒフミ産業(株)・(株) 栄進
2022/11/1	東北少年院	恵和興業(株)・カンサイ建装工業(株)・(株) 寿寿
2022/11/1	帯広刑務所	(株) ドリームジャパン・(株) 高磯建設・北洋建設(株)・(株) 創ファニチャー・(株) エイムカンパニー・(株) ファミリアワーク
2022/11/2	盛岡少年刑務所	梅田交通(株)・(株) ナチュラルスタンス・(株) SHIRO コーポレーション東京支社
2022/11/2	釧路刑務支所	(株) ドリームジャパン・(株) 高磯建設・(株) 雄志総業・(株) 創ファニチャー・(株) エイムカンパニー・(株) ファミリアワーク
2022/11/4	福岡少年院	(一社) ヒューマンハーバーそんとく塾
2022/11/8	網走刑務所	(株) ドリームジャパン・(株) 高磯建設・北洋建設(株)・(株) 創ファニチャー・(株) エイムカンパニー
2022/11/9	浪速少年院	(株) 松本商会・(有) 山下組・(株) 牛心
2022/11/11	宮崎刑務所	(有) 安藤建設・ニューフラワー・(株) パオラックス

じっしよまていび 実施(予定)日	しせつめい 施設名	さんかきぎょう 参加企業
2022/11/11	神戸刑務所	コウキ(株)・(株)寿寿・梅田交通(株)
2022/11/11	徳島刑務所	(株)ワークスタッフ
2022/11/15	京都医療少年院	(有)山下組・(株)松本商会・セントラルポイント(株)
2022/11/15	福岡刑務所	(株)アソート・(株)未来工業・星のHOME'S・ (一社)ヒューマンハーバーそんとく塾
2022/11/15	佐賀少年刑務所	九州事務局が佐少刑の依頼を受け質疑応答のDVDを作成し受刑者視聴で実施。 2月ごろ企業を集めて2回目を実施予定と聞いている。
2022/11/16	加古川刑務所(男)	コウキ(株)・(株)山中建設・(株)いまじ
2022/11/16	東北少年院	カンサイ建装工業(株)
2022/11/17	多摩少年院	(株)誠真工業・(株)キューピットワタナベ
2022/11/22	川越少年刑務所	降旗興業(株)
2022/11/24	福岡拘置所	ニューフラワー・(一社)ヒューマンハーバーそんとく塾
2022/11/25	名古屋刑務所	(株)寿寿・(株)信濃路・(株)藤巻製作所・(株)ワークスタッフ滋賀・ (有)丸昌オート・(株)SHIRO コーポレーション
2022/11/25	長野刑務所	降旗興業(株)・(株)キムフーズ・(有)山下組
2022/11/29	大分刑務所	(株)アソート・(有)安藤建設・(株)エフジー・(株)西日本光創・ (合資)YMK セブンイレブン渡辺通1丁目店・ (一社)ヒューマンハーバーそんとく塾
2022/12/2	麓刑務所	(株)アソート・(株)未来工業・星のHOME'S・ (一社)ヒューマンハーバーそんとく塾
2022/12/2	栃木刑務所	(株)ナチュラルスタンス・(株)藤巻製作所
2022/12/2	加古川学園 2 回目	カンサイ建装工業(株)・(株)プログレッシブ・(株)良心塾・(有)アップ・U彦根・ 三和乃儀(株)・(株)スリーエス
2022/12/7	播磨社会復帰促進センター	カンサイ建装工業(株)・千房(株)・セントラルポイント(株)
2022/12/8	大阪刑務所	(株)SHIRO コーポレーション・(有)大和土木工業・(株)日本介護医療センター
2022/12/9	新潟刑務所	(株)藤巻製作所・(株)キムフーズ
2022/12/12	有明高原寮	(有)佐久間土建興業
2022/12/14	三重刑務所	(株)善機工・(株)高田工業
2022/1/12	茨城農芸学院	(株)Saaave・(株)栄進
2023/1/13	福井刑務所	千房(株)・(株)藤巻製作所・(有)佐久間土建興業・(有)山下組・(株)善機工
2023/1/13	札幌刑務所	(株)ドリームジャパン・(株)高磯建設・(株)創ファニチャー・(株)エイムカンパニー・ 瀧建設興業(株)・(株)ファミリアワーク・磯部鉄建(株)
2023/1/13	名古屋刑務所	(株)SHIRO コーポレーション・(株)ワークスタッフ
2023/1/17	徳島刑務所	(株)SHIRO コーポレーション・(株)ワークスタッフ
2023/1/18	奈良少年院	(株)フォレストホーム
2023/1/25	加古川刑務所(女)	(株)日本介護医療センター・(株)牛心・(株)良心塾
2023/1/25	和泉学園	(株)信濃路
2023/1/27	和歌山刑務所	(株)松本商会・(株)信濃路・(有)丸三商店・(株)松本商会
2023/2/7	盛岡少年刑務所	(有)佐久間土建興業・(株)栄進・降旗興業(株)・コウキ(株)
2023/2/9	久里浜少年院	(株)藤巻製作所・(株)寿寿・(株)AK TEC

2022年度 社会復帰準備訓練職場体験 を実施して

もっと知りたい!!

建設業から始まったこの職場体験は、理・美容業と介護業が加わり、播磨社会復帰促進センターでも飲食業の職場体験を実施するまでになりました。

なぜ4業種にまで拡充したかという、受講生からの「もっと知りたい」という声があったからです。また今年は飲食業を新規に立ちあげただけでなく、従来から実施していた建設業は2業種を拡充するために1日増やし、理・美容業は2業種を拡充するために2日増やすなど受講生の声に応じて体験内容をさらに充実させました。

ただ、介護業は、コロナの影響により延期を余儀なくされたことから、今回は掲載に間に合わなかったことが残念です。今後とも「もっと知りたい」の声にできる限りお応えしていきたいと考えております。

OMOIYARI プロジェクト 藤野 敏弘

さらにパワーアップ! 2023年の職場体験の概要

2022年度は、4業種の職業体験（建設、理・美容、飲食、介護）の実施を予定しておりましたが、残念ながら介護業がコロナの影響により実施できず、3業種の実施となりました。

建設業については、建築各種の専門工事と今回新規参入した非破壊検査とガス配管設備工事の2業種を増やし、29業種のうち17業種に拡充し、学科と実技を実施しました。

初めての体験だった飲食業については、ケガなどを考慮し今回は刃物類を使用せず、料理の下準備であるだしのとり方から盛り付けまでを中心に実施しました。

前回は3日間の体験だった理・美容業は、今回は5日間より充実した体験を用意しました。浴衣等の着付けと日本舞踊から身体の軸を身につける指導の2業種を

増やしました。今回もできる限りそれぞれの職業の魅力を伝えることができ、実技を交えて少しでも実践を体験していただくこと、そして講師の先生方の熱意が伝えられた職業体験であったと思います。



建設業種の職場体験

参加企業 (有)山下組、(株)大剛、(株)セイワークス、(株)山中建設、堀防水工業、(株)松本商会、(株)いまじ、コウキ(株)、(株)Fujiyama、(株)サン・グレイト、日之出塗装工業(株)、カンサイ建築工業(株)

建設業種 2022 年は充実の 10 日間開催!

実施日	訓練項目
9月30日(金)	建設業について ・建設業の役割・魅力 ・建設業の現状と将来 ・建設現場の仕組みと業種 ・基本的な安全について
10月4日(火)	仮設工事 (足場の組立解体の実技) 解体工事 (重機械を使用して解体の実技)
10月6日(木)	鉄筋工事 (鉄筋の加工・組立) 型枠工事 (基礎型枠組立・解体)
10月11日(火)	防水工事 洗い・内装工事
10月17日(月)	土工事・金属工事・屋根工事・防水工事 ガラス工事 鉄骨工事 (作函・加工・組立)
10月18日(火)	建築各種非破壊検査 サッシ (建具) 工事
10月21日(金)	ガス導管工事
10月24日(月)	塗装工事 (草刈社長・大阪テレビ取材)
10月25日(火)	塗装工事
10月27日(木)	会場の片付け清掃・アンケート記入・Q&A 参加企業の各代表とQ&Aトーク



▲協力しながら学んだローリングタワー組立工事



▲一人ひとり塗装も行いました



「知りたい」「来年も実施してほしい」
受講者の声に

建設業種の職場体験は、今回で6回目を迎えることになりました。今回は、今までの15業種から、建築各種非破壊検査およびガス配管設備工事の2業種を加えた17業種へと拡充しました。これも受講生の「もう少し知りたい」の声にお応えしたものです。

受講者は、20歳代が6名、30歳代が3名、40歳代が1名の10名で、各業種の学科と実技を実施しました。

各業種の授業が終了するたびに質疑応答の時間をとり、受講者が抱いた疑問や不安を減らすように心がけました。現場作業に視点をおき、懇切丁寧な説明を意識しました。

最後に、受講生から「来年も実施してもらいたい」との言葉をいただき、今回も実施して良かったと安堵しました。



建設業について基礎から学べる講義



参加企業のみなさんとの質疑応答



参加者の声



「建築に携わっていた」と言ったことを後悔しました。授業が進むにつれ自分が以前にやっていたことが、手元程度の作業だったことに気づいたからです。今回建築の授業を受け、建設の奥深さを知ることができました。

今回は業種が2つ増え、また実施期間が1日増えて10日間になりました。私たちに少しでも建築についての知識を学んでほしいという講師の先生からのご厚意に感謝しております。

私は、建築の経験はまったくありませんが、施設の建設関係の職業訓練で多くの資格を取得したので、その資格を少しでも役立てたいと思い受講しました。自分の資格がどのような現場で必要になるかを講義と実技で知ることができました。ありがとうございます。

理・美容業種の職場体験

参加企業 (株)良心塾

昨年より日数も授業内容も充実 着付けや日本舞踊を学ぶ

理・美容業種は女子受刑者が対象です。今年は受講希望者が非常に多く、昨年の5名から倍の10名となりました。人数が増えた分、今まで使っていた教室では手狭になるため、施設のご厚意により体育館で実施しました。

今年度は、昨年受講した受講生からの「もう少し知識を身につけたい」との要望にこたえて、授業の内容を去年より充実させることにしました。昨年は3日間実施しましたが、今年は5日間にし、内容は着物の着付けから日本舞踊を通して学ぶ心と身体の軸をつくる授業、そして脱毛の授業を増やしました。

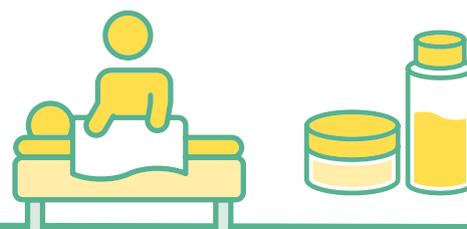
女性ばかりだったこともあり、授業が始まれば目つきが変わり、今まで収容生活ではおとなしかった者が積極的に質問をする光景を見て、職員も驚きました。やはり自分に興味があることに対しては、非常に積極的になれるものだと感心しました。



▲脱毛のレクチャーと実習



▲ヘアメイクの実演



参加者の声

理・美容業は店舗を持たなければいけないと思っていたが、今は高齢者が多くなり、施設や自宅に訪問をする理・美容が多くなってきていることを知ることができ、社会復帰できると自信をもつことができた。

理美容の業界は資格が必要だと思っていましたが、講義を聴いているうちに、資格が必要ではないネイルなどの仕事もあることを知り、仕事の視野が広がり非常にためになった。

不器用だから自分には無理ではないかと不安のまま訓練を受けたが、理・美容業の仕事は不器用な自分でもできると知ることができ非常に良かった。自分の社会復帰に自信が持てた。

飲食業種の職場体験

参加企業 千房(株)、(株)信濃路、日本料理湯木

だしのとり方から盛りつけまで
好評だった実践的な体験内容

初めての試みだった飲食業の職場体験。ケガなどを考慮して刃物を使用せず、盛りつけを中心に実施しました。最初は講義に始まり、午後から実技を行い各企業からだしのとり方を教えました。そして最後には盛りつけの重要性を説明しながら実演しました。

また、実技の時間では、企業ごとにメニューを変え、千房(株)はお好み焼き、(株)信濃路は親子丼、日本料理湯木は鯛茶漬けとばら寿司を用意しました。

さらに、受講生がつくった料理を自分や関係職員が試食する時間もありました。飲食ならではの非常に有意義な授業でした。

来年は、この情報を聞きつけ、より多い希望者が応募してくるのではないかと、参加企業とともに期待しています。なお、非常に実践的な授業であったことから、施設から感謝状をいただきました。



▲親子丼をつくっているようす



▲だしのとりかたを学ぶ



参加者の声



ご指導いただいた3社の講師の先生から、「調理を仕事として長く続けられる理由は、お客様から『美味しかった。ありがとう』と嬉しそうな表情でお礼を言っていただけのこと」だと教えていただけよかったです。

調理実習をしていて、どの調理においても、すべてだしのとり方が違い、だしの重要性を知ることができ非常によかったです。

教えていただいたとおり調理をしたにもかかわらず、試食をすると講師の先生と自分のつくった物との味の違いがわかり、料理の奥深さを知ることができました。



テレビ大阪ドキュメンタリー映画

「おまえの 親になっただけ」

「日本財団職親プロジェクト」が発足して10年

発足から10年間、テレビ大阪で撮影してきた映像をまとめたドキュメンタリー作品が完成。順次、刑務所や少年院の中で上映していきます。

「更生」は一人ではできない…

元受刑者や少年院出院者に仕事や住まいを提供し、更生を支援する「日本財団職親プロジェクト」。発足時から、参画している建築会社の社長・草刈健太郎さん。

彼は妹を殺された被害者遺族でもある。被害者と加害者の間で葛藤を抱えながらも、これまで刑務所・少年院50か所以上で面接を行い、30人以上雇いながら、更生を支え続けている。

しかし、草刈さんの思いとは裏腹に…職場放棄、失踪、再犯する者も続々…

何度も何度も裏切られてきたが、草刈さんは「心を鬼に、仏にして」、親のように見守ってきた。

草刈さんの活動を支え続けたのは「加害者を減らせば、妹のような被害者もなくなる」という信念と、更生の道を歩み始めた元受刑者、そして活動を続ける職親プロジェクトの仲間たち。元受刑者への思い込み、偏見を取り除くため、ともに悩み、更生の手を差し伸べ続けてきた。

元受刑者の不安と社会の現実を織り交ぜながら、更生の歩みを見つめた10年間。本作品を通じて更生への誓いと再犯防止のさらなると取り組み、社会の在り方も問うていきます。



全国の刑務所・少年院など矯正施設を対象に、本作品を貸し出し（無償）致します。

ご希望・お問い合わせは「公益社団法人 OMOIYARI プロジェクト」まで。



就労支援 × 学習支援

加古川学園プロジェクト

加古川学園プロジェクトを受講するまでは、「今までやったことのないことは全部できひん。やってもできひん」と、自分で決めつけて、何もしなかった院生たち。このプロジェクトで「やればできる」に考え方が変わってきたことが非常にうれしい。

加古川学園プロジェクトとは？

加古川学園は、第1種少年院として、社会適応過程Iと支援教育課程IIIの関西圏の支援が必要な少年（グレーゾーン）が多く送致されている施設で、全体の6割～7割を占めている施設です。

今回、OMOIYARI プロジェクトの委託事業として、職親プロジェクトの全面的な協力のもと、就労支援の一環として、同学園で公文式学習を実施するにいたりしました。就労支援と学習支援が連携することで、出院後の少年にとって一貫したよりよい支援が届ける

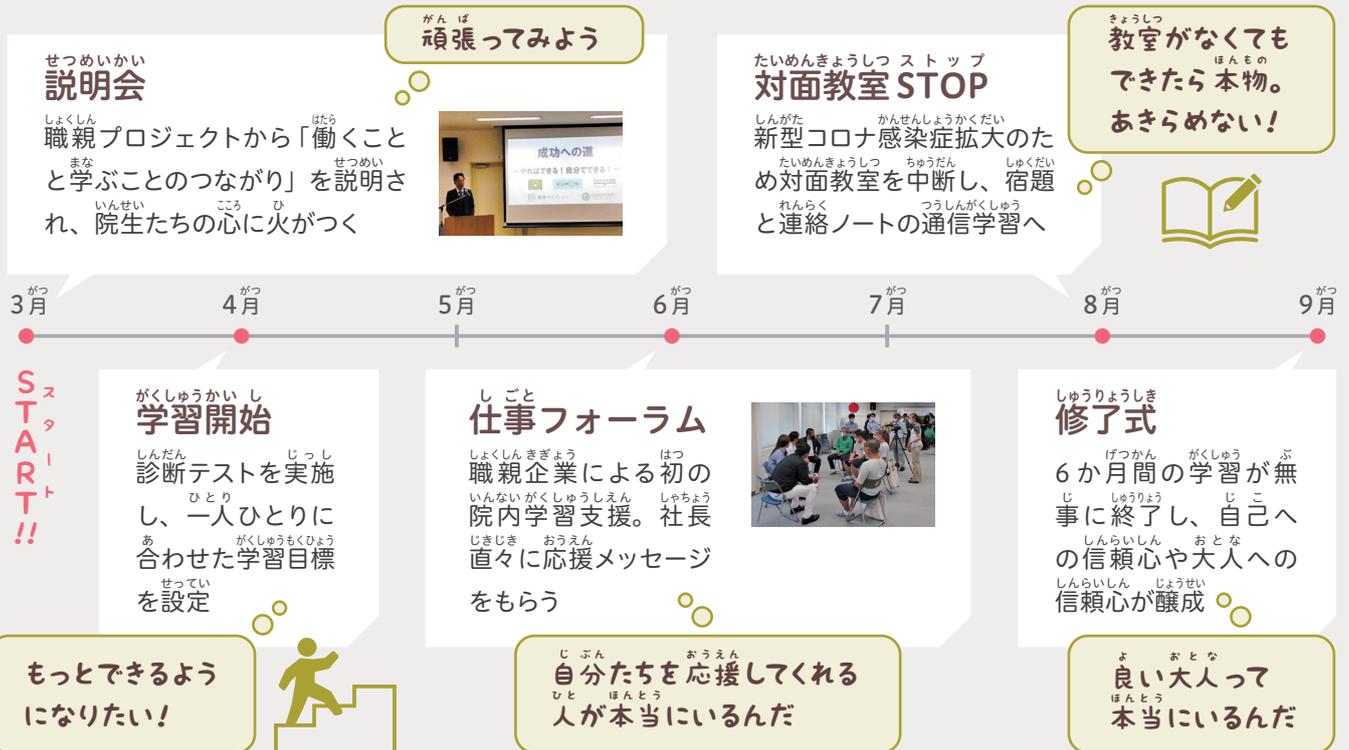
ことができるか学習期間を通じて検証したものです。

また、学習期間も6か月間と長いので、6か月が確保でき、就労の希望の高い院生の中から、同学園が決定した者を対象にしました。

公文式学習の目標としては、算数・数学は小5の分数を頭の中で数を操作、先を見通して順序だてる力をつけさせたり、国語では小5の抽象的な語彙の獲得と文章の中の関係性をつかむ力や中1の縮約の力をつけることを目的としました。

加古川学園プロジェクト第1期の流れ

2022年3月から始まり2022年9月に修了式を迎えた「モデル1期」。6か月間で、少年たちには以下のような変化がありました。



加古川学園プロジェクトの成果

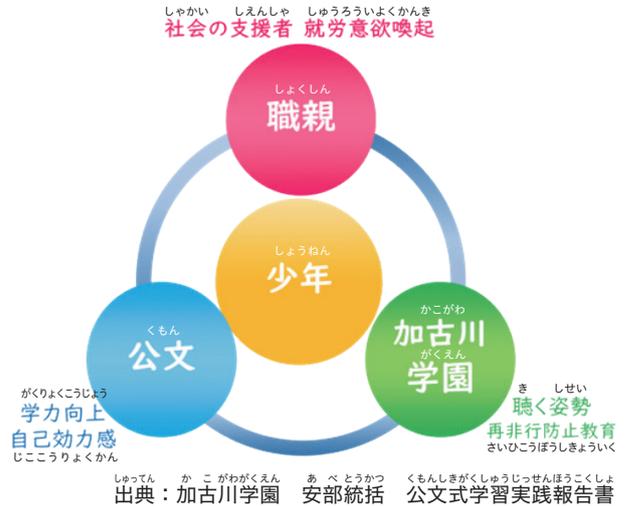
院生たちの基礎学力を向上させ、自己信頼心や大人への信頼心の醸成、そして就労意欲を促すために始まった加古川学園プロジェクトは、結果として、当初の想定をはるかに超える成果が出ました。成果の背景にあるものは以下と考えます。

成果の要因

1 「学習と就労のつながり」が見えることで、学習意欲を維持・向上させた

2 「良い大人・信じられる大人が自分を応援してくれている」という実感が生徒の自己信頼感を育み、学習の土台となった

3 関係者（職親プロジェクト関係者・加古川学園・学習支援者）全員で、それぞれの立場から知見を出し合い「1人」の少年の更生を「みんな」で考えた



なお、このプロジェクトのメインの取り組みである公文式学習では、国語力、算数力の向上だけでなく、自分の間違いに向き合い最後までやり抜く姿勢を向上させることができました。



修了式を終えて

加古川学園プロジェクトを通して、「もっと知りたいことが増えた」「選択肢が増えた」などの前向きな声を院生からいただきました。ここでは半年間のプロジェクトを経た院生からの感想を一部お届けします。

● 半年間取り組んできた公文が終わり、達成感があります。ですがまだ続けたいと思いました。修了式では、草刈社長や公文の先生たち、加古川学園の先生たちが感動していたのを見て、「この人たちは本気だったんだ」と、いい出会いだったと思いました。

● たんさん、はじめて、算数も国語も1,200枚ものプリントに取り組みました。自分でもようやくたっと思えます。これで、自分に子どもができて教えられるんです。修了式で泣いている先生方を見て、勉強以上のものを身につけられました。



入会説明会

開催しました!

新たに職親プロジェクトに参加する企業向けの説明会です。企業側の理解を深めることにも力を入れていきます。入会説明会に参加した企業からは、「他の従業員への説明と理解が重要だとわかった」「刑務所内で様々な資格が取れることを知った」「雇用経験のある企業の実体験を聞くことで受刑者等雇用をリアルに知ることができ、覚悟を持って進めていきたいと思った」という感想がありました。

2022年8月より、連絡会議の開始前に入会説明会を開催しています。

職親プロジェクト関西の登録希望企業および新規登録企業に対し、職親プロジェクト関西の活動内容、申込から登録までの手順、必要書類の確認と記載方法、雇用に関する支援制度等をお伝えし、初めての受刑者等雇用の不安を解消し、スムーズな雇用の支援を目的としています。

また、コレワーク（矯正就労支援情報センター）の担当者から、自社にマッチングする受刑者専用求人への書き方やコレワークの有効な活用方法をレクチャーいただきます。

これまで3回開催をし、のべ39名が参加。うち14社が新規登録されました。

登録希望企業の多くは、受刑者等雇用の経験がない方もいらっしゃるため、実際に雇用する際の留意点やメリット・デメリットなどについての質問が寄せられます。

すでに多くの受刑者等を雇用してきた一企業として、「他の従業員への理解を深めること」「彼らの居場所をつくること」「社会復帰したいという想



いを尊重すること」という企業側の努力が彼らの定着と活躍に繋がるとお伝えしています。

人材不足の解消をきっかけに登録を希望されている企業も多くおられるため、簡単に人が採用できるわけではなく、企業側の積極的な行動と意識変革が必要であると強調しています。

同時に、受刑者等雇用ならではの感動的な実体験や社内外でのポジティブな変化など、通常の雇用では経験できないメリットもお伝えしています。

受刑者等雇用を社会貢献の側面だけではなく、多様な人材の活用戦略として取り組む新規登録企業を支援し、ひとりでも多くの出所者が安心して

働き続けられる魅力あふれる企業を増やしてまいります。



ゆうげんがいしやまたくみ とりまりやく
有限会社山下組 取締役
やました のりこ
山下 典子

企業研修会 実施報告



第一回目の企業研修会でしたが、幹事企業とこれからの企業とのコミュニケーションをはかる意味でも有意義な時間となりました。

2022年8月26日に職親プロジェクト登録企業の相談窓口事業として、近畿地方更正保護委員会の全面的な協力のもと、大阪府就労支援事業者機構・コレワークと連携して、企業の採用課題や採用後の課題点などを話し合う研修会を開催させていただきました。

当日は、北海道・東北・関東・関西から37名もの参加者が集い、第一部では近畿地方更正保護委員会の担当者から「職親と更正保護」というテーマで、刑務所～企業に受け入れるまでの流れや仕組みをわかりやすく登録企業に説明し、参加者からは採用についての流れが理解できた、仕組みがわかったことで担当行政との連携がとりやすくなったなど、知識のインプットに繋がった説明会ができました。また、第2部では幹事企業がテーブルリーダーとなり、企業間でのテーブルディスカッションを行い、採用における課題や定着させるための取組事例など積極的な意見が飛び交う大変活気のあるディスカッションをすることができました。

参加した企業からは、「積極的に刑務所に赴き受刑者とまず会うことが大事」、刑務所との関係性を深めることはもちろんのこと、「今回の研修

会を通じて、コレワークや保護観察所といった社会資源の有効活用をしたい」など、たくさんの意見を聴くことができ、今回の官民連携での研修会の反響が大変大きなものであると確信することができました。

今後様々なテーマに沿って研修会を開催し、官民の連携はもちろんのこと企業間同士の更なる連携強化と横の繋がりを創っていくことが雇用の強化に繋がりを、一人でも多くの対象者を自立させることができる近道となるよう研修会を重ねて参る所存でございます。

企業の皆様の「こんなことで悩んでる」「こういうときどうすれば？」の声が今後の研修テーマになります。困ったなと思ったらご連絡をお待ちしております！



企業のSOS相談窓口支援担当幹事
児林 健太

職親プロジェクト、全国に支部や拠点づくり！



宮城支部発足！

職親プロジェクトの理念に賛同した企業の輪が東北宮城の地においても広がっております。2022年10月25日、恵和興業をはじめ10社が対象者の受け入れを表明、当日は行政関係者・民間企業約70名の参加者のもと無事に発足式を迎えることができました。

拠点立ち上げ支援担当として、新たに同じ志をもつ仲間が宮城に増えることへの喜びとこれからの宮城支部がますます盛り上がることを心から祈念申し上げ、「まずは、1社1名の採用と定着」を通年の目標として、私も尽力していく所存でございます。この度は、本当におめでとうございました。

日本財団 職親プロジェクト関西 拠点立ち上げ支援担当
児林 健太



日本財団職親プロジェクト
宮城支部発足 式次第

日時：令和4年10月25日（火）15:00～16:30
場所：仙台国際センター会議棟 2F

15:00	開会
15:01	公益財団法人日本財団 理事長挨拶 尾形 武寿
15:04	日本財団職親プロジェクト 代表挨拶 中井 政嗣
15:10	来賓挨拶 宮城県知事 村井 嘉浩 様
15:17	来賓挨拶 仙台市長 郡 和子 様
15:24	宮城支部 支部長挨拶 笹川 慎太郎
15:30	「職親プロジェクトについて」 章刈 健太郎
15:40	宮城支部 職親企業紹介
15:52	参加者紹介
16:17	宮城支部事務局より
16:20	閉会、記念写真撮影
16:30	記者会見



▲ 2022年10月26日の河北新報で宮城支部発足について紹介されました！

わたし **めん せつ たん とう** 私が面接を担当します



会社名

株式会社 SHIRO
コーポレーション

代表者

高橋 政志

面接担当

高橋 政志 (代表取締役社長)

株式会社 SHIRO コーポレーション
〒611-0042 京都府宇治市小倉町山際 56

Q どんな雰囲気の会社ですか？

弊社は刑務所出所者等の就労支援を約 10 年前から京都本社で、現在では大阪支社、東京支社を加えた 3 拠点で行っています。

今では 3 拠点の従業員の約半数が刑務所出所者等の人たちになりました。同じ境遇の人たち、また理解ある人たちが支え合い、

日々、更生と社会復帰をめざして就労していただいています。

Q 求める人物像はどんな人ですか？

どんなに辛く苦しくても、目標、夢をしっかりと持ち、日々努力を積み重ねることができる人です。また、人や家族、そして自分自身のために人生を歩んで行ける人になってもらいたいと思います。

Q ぶっちゃけ面接の時はどういうところを見てみますか？

面接時には、生まれた時から面接時点までどんな人生を歩んでこられたのかを嘘偽りなくすべて聞かせていただききます。私は、これから皆さんと人生を共に歩んでいきたいという思いがあるので、「応募いただいた人は全員を雇用する」覚悟で面接に臨んでいます。



会社名

株式会社
日本介護医療センター

代表者

谷口 優亮

面接担当

徳永 傑

株式会社日本介護医療センター
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 2-4-1
スギ薬局ビル 2F

Q どんな雰囲気の会社ですか？

弊社は常に对人援助に関わる仕事をしているので、人と人との関わりが多く、とても温かい雰囲気です。新しい環境で人間関係がうまくいか、不安な人もいますが、人の心と触れ合うことが得意なスタッフばかりなので心配はいりません。資格取得制度を活用してどんどんスキルアップできる「挑

戦」の機会が豊富なため、働きながら自分のペースで「成長」できます。

Q 求める人物像はどんな人ですか？

スキルは特に求めていません。「やる気」「根気」「元気」がある方なら大歓迎です。企業理念にも掲げているように、どんな出来事にも常に「感謝」の気持ちを大切にできる方を求めています。

Q ぶっちゃけ面接の時はどういうところを見てみますか？

人には誰しも「強み」もあれば「弱み」もありますが、私は常に「強み」に着目しています。犯罪歴やその背景の把握は必要ですが、それ以上に潜在力を見い出すためにはどのような関わりが大切かを考え、「強み」を最大限に発揮できる環境を提供することが自分に与えられた役目だと思っています。

上山会長応援メッセージ 「変えていこうよ…」

2013年に職親プロジェクトを立ち上げ、当初から参加をしている株式会社一門会代表の
上山勝也です。

あなたは過去の人生において、意思を持って法律を犯しましたが、運も悪運、縁も悪縁に
なる者とは今後断ち切り、いままでお世話になった方へ、恩返しをする為に生きていくこと
を勧めます。

過去の過ちは、変えることはできませんが、自分の未来にまた過ちを起こしますか？ 今
後の過ちは意識次第で変えることはできます。これからの人生を、楽しく有意義に過ごして
いただきたいので、私から【人生のかきくけこ】のメッセージを送ります。

か【感謝と感動】

感謝の心を常に持ち、些細なことであっても感動する。
自分を宝物とする。

き【気持ちと気配り】

気持ち、気配りを持って、人だけでなく物にも接する。

く【苦勞と工夫】

苦勞があるから工夫が生まれる。

け【経験と謙虚】

経験を活かし、謙虚な姿勢で人に接する。

こ【向上心、心配りと志】

常に向上心を持って人生を送ること。

相手に対し心配りが、できる人になることを志す。



株式会社一門会
代表取締役会長兼社長 上山 勝也
(職親プロジェクト 関西 副代表)



おすすめとしょうかい 推薦図書紹介



「生き方」 稲盛和夫 (サンマーク出版)

究極の人生論
二つの世界的大企業・京セラとKDDIを創業し、JALを再生に導いた「経営のカリスマ」が、その成功の礎となった「人生哲学」をあますところなく語りつくした一冊。夢をどう描き実現していくか？人間として最も大切なことは何か？

経営の神様 稲盛和夫氏が幸せな人生を送るために一番大事な事を分かりやすくまとめている著作。

人生の半分を反社会的な考えで生きて来た推薦者が生き方考え方を変えるきっかけになった名作。今までの人生を変えたい人、幸せな人生を送りたい人、必見の著書です。

推薦者：株式会社プログレッシブ・株式会社良心塾
代表取締役社長 黒川 洋司



「社会復帰は誰と出会うかで決まる 心の独りぼっちをつくらせない」

斎藤 信二 (著)、長原 和宣 (監修) (高木書房)

受刑者の教科書！
長原和宣第3弾は、服役を終えて、復帰し再び刑務所に戻らないための方法を、自身のシヤバでの体験から紹介。それは年齢・性別・学歴・能力・技術・前科は一切関係なく、誰もが実践できる当たり前のことばかりです。

長原さんは、なぜ前科者の更生に積極的に取り組んでいるのか。自身が立ち直るために何をしてきたのか。その過程における自分自身との闘い、心の葛藤、そして気づきなどを取り上げています。まさに前科者を更生へと導くヒントが、たくさん詰まった内容になっています。それに止まらず、自分を変えたいという一般の人にもためになる内容です。なぜなら、長原さんが立ち直る過程で掴み取ってきた生き方は、人が生きるうえで、もっとも基本となる大切な生き方だからです。

推薦者：株式会社高木書房 代表取締役 斎藤 信二



OMOIYARI
プロジェクト

職親プロジェクト関西の事務局の OMOIYARI プロジェクト (代表理事

草刈健太郎) です。2019 年に設立されました。季刊誌を読んでいただ

いて、感想でも気になる事でも、就職の相談等々のお手紙をお待ちして

おります。また、この季刊誌の貸与を希望される方は、施設の職員に申

し出てください。



〒532-0011 大阪府淀川区西中島5丁目14番5号
公益社団法人 OMOIYARI プロジェクト



「やりなおしたい」人と、それを応援する企業の情報誌

さしいれ

Vol. 3

2023年4月27日発行

発行：日本財団職親プロジェクト関西事務局
公益社団法人 OMOIYARI プロジェクト

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5丁目14番5号

TEL 06-6885-5558 FAX 06-7633-8239



制作：株式会社 小学館集英社プロダクション

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-20 SP神保町第2ビル5階

TEL 03-3515-6779 (矯正教育企画課)